

TSURUOKA ROTARY CLUB

国際ロータリー第2800地区

鶴岡ロータリークラブ

平成 19 年 10 月 7 日 (日) 第 2382 回 (本年度第 14 回) 例会

●創立 昭和34年 6 月 9 日 ●例会日 毎週火曜日(12:30~13:30) ●例会場 東京第一ホテル鶴岡 鶴岡市錦町2-10



ROTARY SHARES
ロータリーは分かちあいの心



例会に出席し
友情を深めよう

本日の卓話 (10/7)

第 2800 地区 地区大会 (於：米沢市)

10 月 2 日 (第 2381 回) 例会報告

点 鐘

ロータリーソング「四つのテスト」

卓 話：「新入会員スピーチ 『微善を積む』」

ユアテック鶴岡営業所長 田中 豊 君

ビジター：小池泰弘君 (鶴岡西 RC)

エリック・マイヤー氏・ケリー五十嵐さん

会長報告

先週の行事

○ 9/29 ガブリエルさんの歓迎会。鶴岡 4 クラブ
合同と云う事で他クラブからも大勢の方々に出席
いただきました。司会された本間さん、出席した
皆さんご苦労様でした。

◆会長ショートスピーチ

皆さんはまたかと思われるでしょうが、昨日私の
ところでまた別のアニサキスの患者さんが見えら
れました。ご自分からアニサキス、アニサキスと連
呼しながら診察室に入ってきて内視鏡やってくれと
おっしゃいます。アニサキスは今や患者さんが診断
するほどポピュラーになった病気のようにです。内視
鏡では胃の出口に数箇所何かに齧られたような跡が
みられます。急性の胃潰瘍でもこんなのが見られる
ので、あるいは日頃のストレスの結果の胃潰瘍かな
と考えながら胃の入り口を見ましたら、とぐろを巻
いた立派なアニサキスに出会いました。つまむとま
だ生きていました。聞くところによりますと、2 日
前にさんまの刺身を食べたとの事です。胃の中で 2
日も元気で生きた事になります。

さんまは東北地方の太平洋側で陸揚げされ日本海
ではとれません。流通機構の発達のために、今や太

次回の卓話 (10/16)

歴代会長スピーチ

佐々木 喆彦 君

平洋でとれたさんまのアニサキスを反対側の日本海
地方の人が生きたまま食べて腹痛を起こす、考え方
によっては、真に幸せな時代になったものだとつく
づく思いました。しかしやっぱりさんまは塩焼きが
おいしく、しかも安全な食べ方かなとも思いました。

幹事報告

○青少年交換小委員会・地区交換学生オリエンテーション
日時：10/20・21 (土・日) 時間：13：30 登録開始
場所・ホテルセンチュリー寒河江
登録料：宿泊者 10,000 円
オリエンテーション 2,000 円
締切：10/10 (水)

◎第 4 回理事会報告

- ①蕎麦打ち家族例会 (11/13) の登録料
会員 4,000 円 家族 2,000 円
- ②手帳型会員名簿作成について
- ③荘内日報に広告掲載について
 - ・鶴岡市立朝陽第一・第二・第三・第四小学校の
創立 100 周年記念広告の掲載依頼
 - ・鶴岡市内 4 クラブの合同広告
広告料：1 クラブ 5,250 円
- ④「敬天愛人」碑へ「贈呈者鶴岡ロータリークラブ」
のプレート設置について
費用 25,000 ～ 30,000 円
- ⑤ 10 月の予定
 - ・10/7 (日) 地区大会 (10/9 の振替)
 - ・10/21 (日) 香頭ヶ浜の海岸清掃活動
 - ・10/27 (土) 鶴岡東ロータリークラブ
創立 20 周年記念式典
 - ・10/30 (日) 規定休会

会 長	真 島 吉 也
副会長	富 樫 松 夫
幹 事	本 間 昭 吉

会報委員会
事務局

青柳孝治 佐々木喆彦 白幡憲一郎
鶴岡市馬場町11-63 産業会館 3 階
TEL:0235-28-3375 FAX:0235-28-3776

卓 話

新入会員スピーチ「微善を積む」

㈱ユアテック鶴岡営業所長 田中 豊君

はじめに簡単な自己紹介をさせていただきます。

湯ノ浜温泉街のお土産屋の長男として昭和29年12月に生を受けました。湯ノ浜小学校第1回の卒業生です。加茂中学校では冬以外は約4kmの距離を自転車通勤していました。部活動で自身の肉体と精神力を鍛え、3年間続けられたことは良い経験です。高校は、県立鶴岡工業高校電気課に進学しました。鶴工伝統の上級生の挨拶があり昼休み中はいつも教室で指導を受ける日々でした。

地元企業の就職を希望し、昭和48年4月1日新社会人として東北電気工事株式会社鶴岡営業所へ入社し現在に至っています。

当社が企業倫理行動の一環として現在行っている、みんなで考えよう職場風土「微善を積む」の取り組みを紹介します。

当社の企業理念は、「ユアテックはお客様の心豊かな価値の創造に協力し、社会の発展に貢献します」であります。事業を通じて社会から有形無形のご協力・ご支援によって育まれていることを常と感じ、同時に社会にいかに関与していくか念頭におきながら事業を行っていかねばなりません。その為に、社会の一員として高い倫理観に基づく企業行動が必要であります。昨今の不祥事等を背景として、企業の信頼性と透明性を確保するための法律の制定や改正が頻繁に行われたことから、それらの社会情勢の変化に対応するため「ユアテック企業倫理行動指針」を再度見直して制定しました。

企業の不祥事、個人の不祥事はなぜ起こるか、トップや上司の管理不行き届きか、また過去データや法則を引っ張り出して検討しました。

○ハインリッヒの法則

アメリカの技師ハインリッヒが発表した法則で、労働災害の事例の統計を分析した結果、導き出されたものです。重大事故を「1」とすると、軽傷の事故が「29」、そして無傷災害は「300」となるというもので、これをもとに「1件の重大事故(死亡・重傷)が発生する背景に「29件の軽傷事故」と「300件のヒヤリ・ハット」があるという警告として安全活動の中で出てきます。事故を未然に防ぐには、不安全な状態や行為を認識し、ヒヤリ・ハットの段階で地道に対策を考え、実行していくことが重要です。



「微善」の事例と継続

- ・毎朝の挨拶 ・本棚の整理 ・観葉植物の水差し
- ・共用部の掃除と片付け ・社有車の掃除
- ・花壇への水差し ・会社前の歩道の掃除
- ・構内の掃除 ・雑草の草取り
- ・訃報案内の新聞チェック

その他いっぱい目の前にあります。

毎日続けていると……落ちているごみに対して何でゴミを捨てるのか怒りに近い感情がでる。

自分は今までいかにゴミを無視してきたのか

- ・平然とゴミを捨ててきた反省、ゴミを見逃してきた反省、ゴミを自ら掃除することで行動した充実感が出る、そして俺にもこんな美しい心があったのかという認識が生まれる

これらをまとめると、

- ・今までの不祥事は起こす人間が悪いと問題の原因は全て自分以外の外部にあると思っていた。
- ・自分から何も行動を起こさないでただじっと見ているだけの傍観者だった。
- ・他人に向けていた目を自分に向けてみて気付いた。
- ・不祥事のない職場作りのためには職場のひとり一人が目の前の小さな事をおろそかにせず小さな善行を地道に継続していく。
- ・やがては周囲を巻き込み不祥事が起こらない環境が出来る。
- ・明るいそして規律ある凛とした職場を作っていく。それが「微善を積む」ことから得られると考えています。

委員会報告

親睦委員会

10月誕生祝い

◎会員誕生 青柳孝治君・塚原初男君

◎配偶者誕生 加藤典子さん(加藤賢君)
阿部喜代子さん(阿部純次君)
塚原玲子さん(塚原初男君)

●スマイル●

真島 吉也君 佐藤 孝子君 嶺岸 禮三君

出席委員会

●出席報告(10/2)●

会 員 数	出 席	出 席 率	前々回 確定出席率
46名	30名	68.18%	72.73%

●メイクアップされた方

藤川 享胤君 樋渡美智子君 本間 昭吉君
丸山 隆志君 嶺岸 禮三君 真島 吉也君
越智 茂昭君 佐藤 孝子君 白幡憲一郎君
富樫 松夫君 富田喜美子君